

# 競 技 注 意 事 項

1. 2018年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. スタート音は、電子音で行う。
  - ・スタート時の不適切行為について、警告を行う場合がある。2度の警告で失格となる。(当該種目のみ)
3. 招集について

(1) 招集時間

トラック競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので
フィールド競技	裏表紙の競技時間表を参照のこと

- (2) 招集所は、メイン競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。
- (3) メイン競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。(各人で入場しないこと)
- (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
- (5) 電子機器類の競技場への持込を禁止する（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）。招集所で持ち物をチェックする。
4. スパイクのピンは、全天候性走路のためトラックは9mm、フィールドは12mm以下のものを使用すること。
5. トラック競技はタイムレースとする。但し、100m・200m・400m・100mH・110mH・400mH は結果記録上位者による選抜レースを行う。フィールド競技はトップ8方式で行う。
6. 女子5000mは男子5000m第2組と同時スタートとする。
7. 800m以上の種目は招集所において、腰ナンバーカードを受け取り右腰斜め後方に着用すること。  
(レース後に係員に返却のこと)
8. 5000m競歩は、男女同時スタートとする。
  - ・招集所において競歩用ナンバーカードを受け取り胸部へ着用し、ゴール後返却すること
  - ・個人のナンバーカードは背中側へ着用すること。
9. 1500m以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。
10. トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
11. バーの上げ方、計測ラインについて。(天候等により変更あり)

<走高跳>

	(練習)			(開始)							
男子	1.70	1.90	2.10	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	2.03	(以後3cm)
女子	1.35	1.50		1.40	1.45	1.50	1.55	1.58			(以後3cm)

<棒高跳>

	(練習)			(開始)		
男子	3.60	4.00	4.50	3.70	3.90	(以後10cm)
女子	2.00	2.80	3.30	2.20	2.40	(以後10cm)

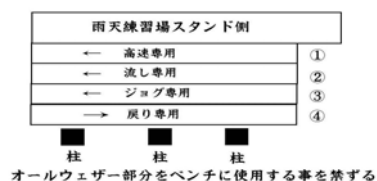
<フィールド計測ライン> (天候により変更あり)

	男子	女子
走幅跳	6m50	4m90
三段跳	13m00	10m20
砲丸投	11m50(少年)	9m50
円盤投	32m00(少年)	30m00
ハンマー投	38m00(少年)	
やり投	48m00	30m00

※上記以外は計測ラインを設けない。

12. フィールド競技(棒高跳び・4名以下を除く)の試技時間は30秒となる。
13. 走幅跳・三段跳のピットは、スタンド側よりAピット、Bピット、バックスタンド側をCピットとする。  
三段跳の踏み切り版は、男子12m、女子10mとする。  
棒高跳は1500mスタート側をAピット、200mスタート側をBピットとする。  
グラウンドのレベルの表記は、第1曲走路側をAゾーン、第2曲走路側をBゾーンとする。
14. 投てきの練習は、メイン競技場内のみとし、競技場周辺や補助競技場での練習は厳禁とする。
15. 雨天練習場については下記を守ること。

- スタンド側の1レーンは、高速専用とする。
- 2レーンは流し、3レーンはジョク専用とする。
- 外側のレーンは戻り専用とする。
- オールウェザー部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。
- 旧補助競技場側アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。



16. 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。
17. 競技会での怪我は応急処置のみで、以後の責任はもたない。

その他

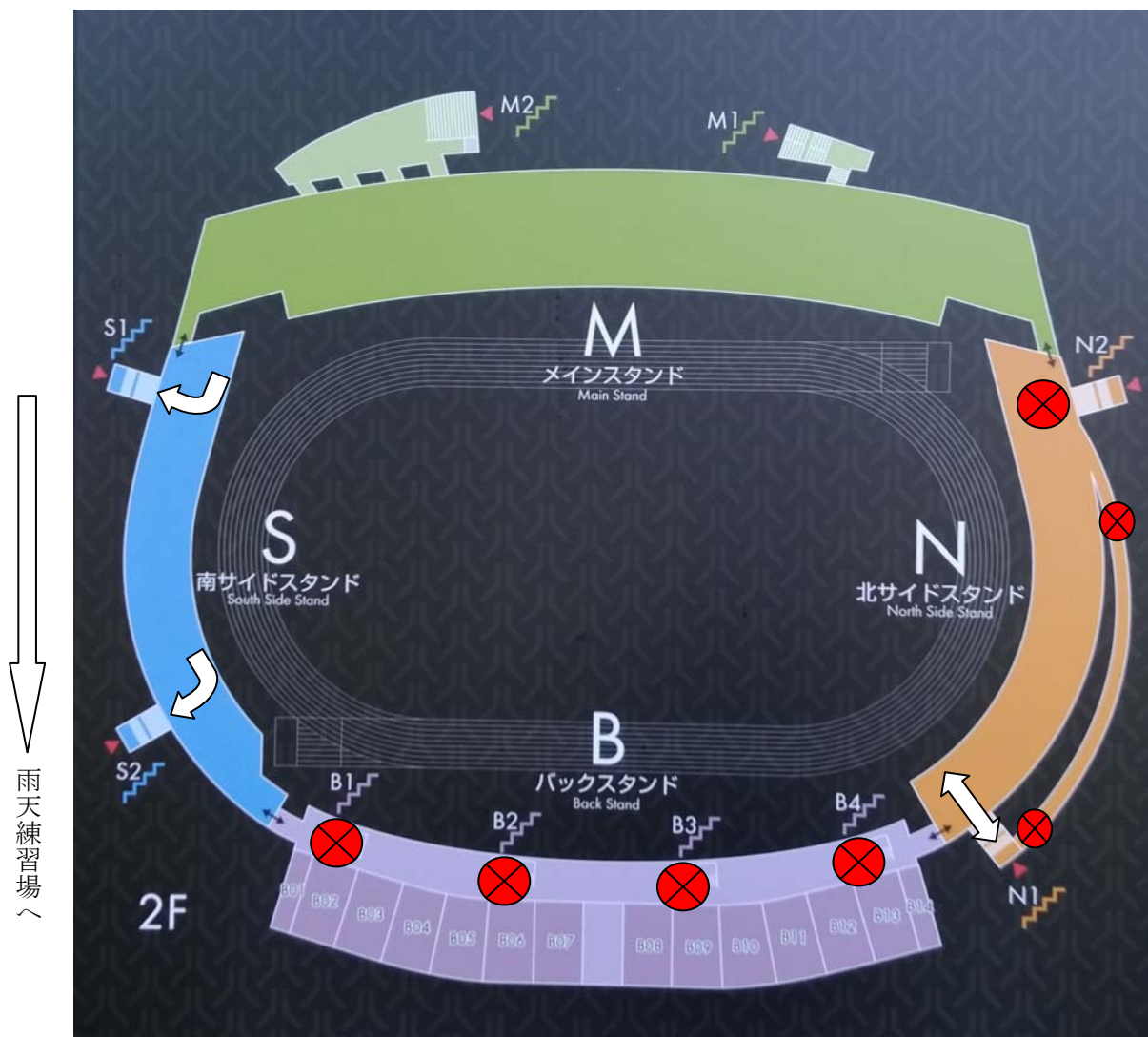
- メインスタンド1階は関係者(選手・役員)以外立ち入り禁止とする。
- メインスタンド15列目より下へベンチを設置することを禁ずる。
- 横断幕は芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。(最前列は禁止)
- 競技場・スタンド席とも汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。
- 更衣室は、更衣のみに使用し、チームのベンチとして使用しないこと。
- 貴重品等、持ち物の保管は各自で責任を持つこと。
- 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り退場すること。
- 防水塗装保護のため、2階コンコースへベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。
- 芝生席(バック及びサイド)は芝生養生のため立入禁止とする。  
タープテント等の簡易テントの設置は、バックスタンドのみ可とする。
- 補助競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。

# スタンド詳細図

スタンド出入口閉鎖箇所は下記のとおりとする

## 旧補助競技場は立ち入り禁止

雨天練習場は事故に十分注意して使用のこと



雨天練習場スタンド側	
← 高速専用	①
← 流し専用	②
← ジョグ専用	③
→ 戻り専用	④

■ 柱      ■ 柱      ■ 柱

オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

雨天練習場外側アスファルト部分はベンチとして使用可